

観光立国の実現は地方(地域)から

業績「伸びる」わずかに増加

2017年の旅館・ホテル 本社 経営アンケート調査

週刊



宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

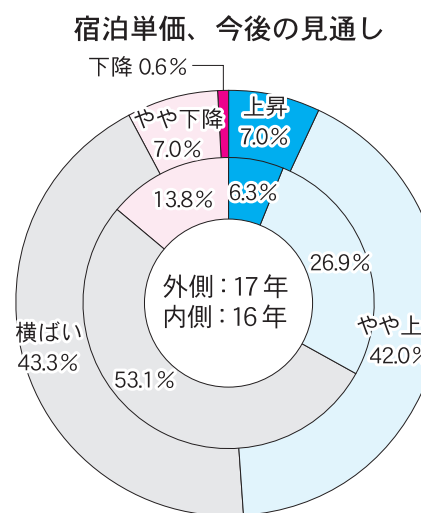
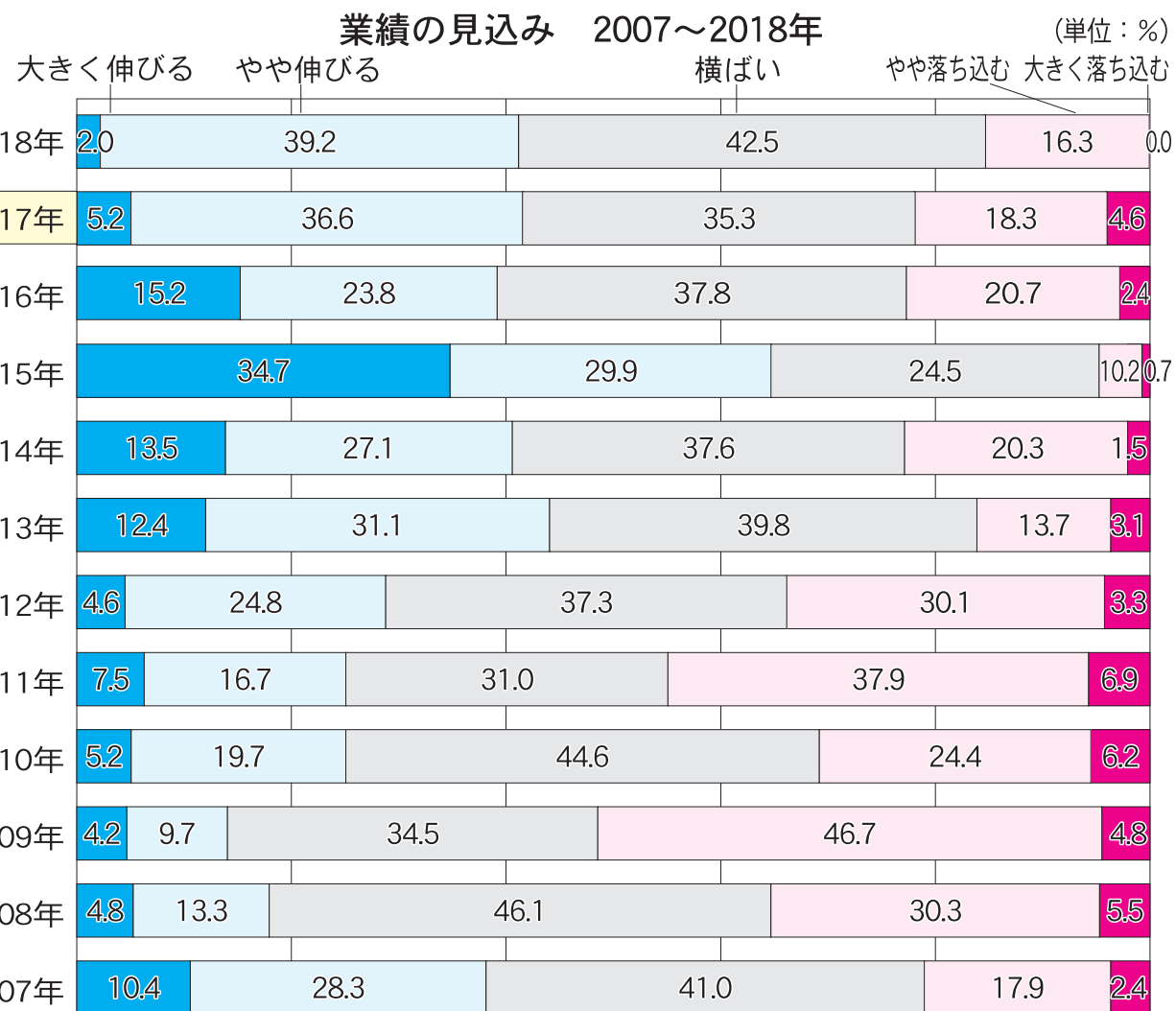
新年号 第2部

「人材不足」が課題

旅館・ホテルの業績がやや回復している。観光経済新聞社は、日本旅館協会の会員などに経営状況や課題を聞くアンケート調査を実施した。その結果、2017年の業績が前年よりも「大きく伸びる」または「やや伸びる」という回答の割合は41.8%となり、前年39.0%をわずかに上回った。経営の課題は「人材不足」の声を圧倒的に多く、旅館・ホテル業界の人材難が改めて浮き彫りになった。

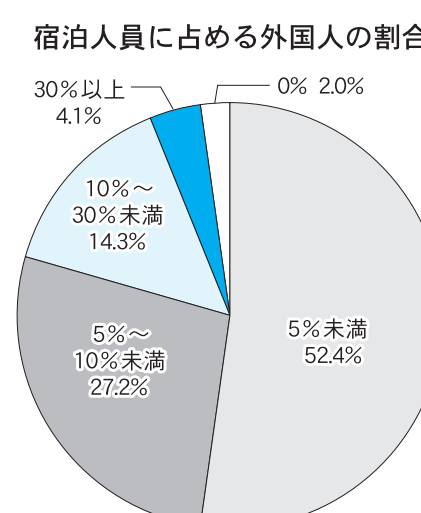
業績「伸びる」37%

業績の回復は、前年に「やや伸びる」は12.8%増の36.6%。伸びるの割合は前年より「大きく伸びる」の割合が1.8%増の18.3%、「やや伸びる」の割合が2.0%増の28.3%となった。一方で「やや落ち込む」は2.5%増の13.5%、「大きく落ち込む」は0.6%増の16.3%となった。



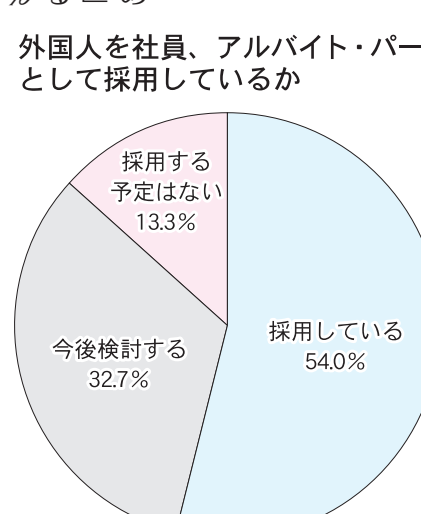
客室を販売するチャネルについて質問したところ、旅行会社経由は「31.4%」が最多。次いで「25.5%」で、前年同様にこの2領域が多かった。ネットエージェント経路は「23.8%」(21.3%)が

ネット比率「11~20%」



外国人を社員、パート、アルバイトとして採用しているか。採用しているのは54%。採用していないのは13.3%。今後検討する32.7%。

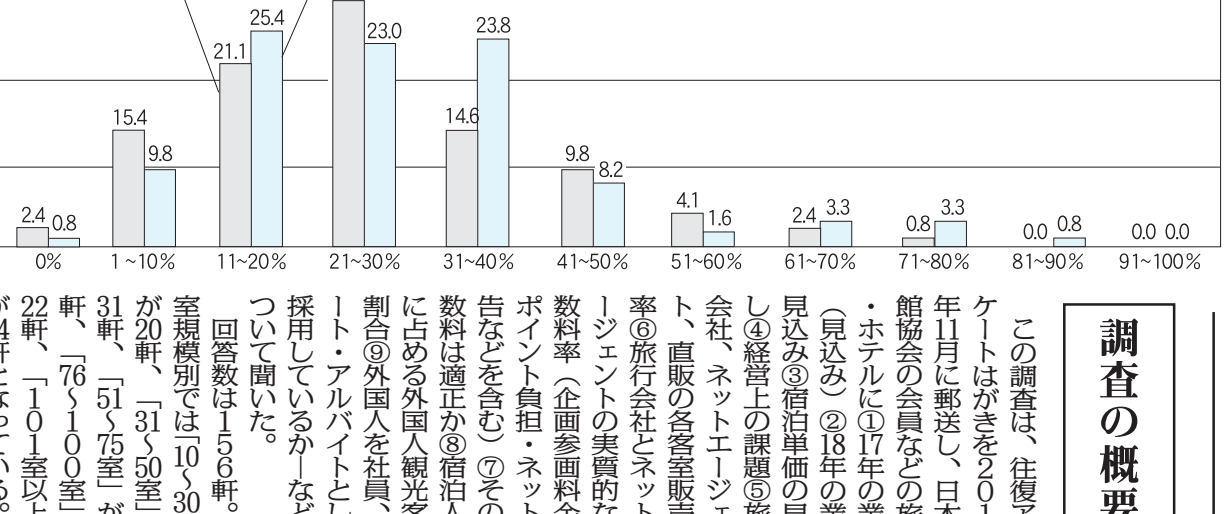
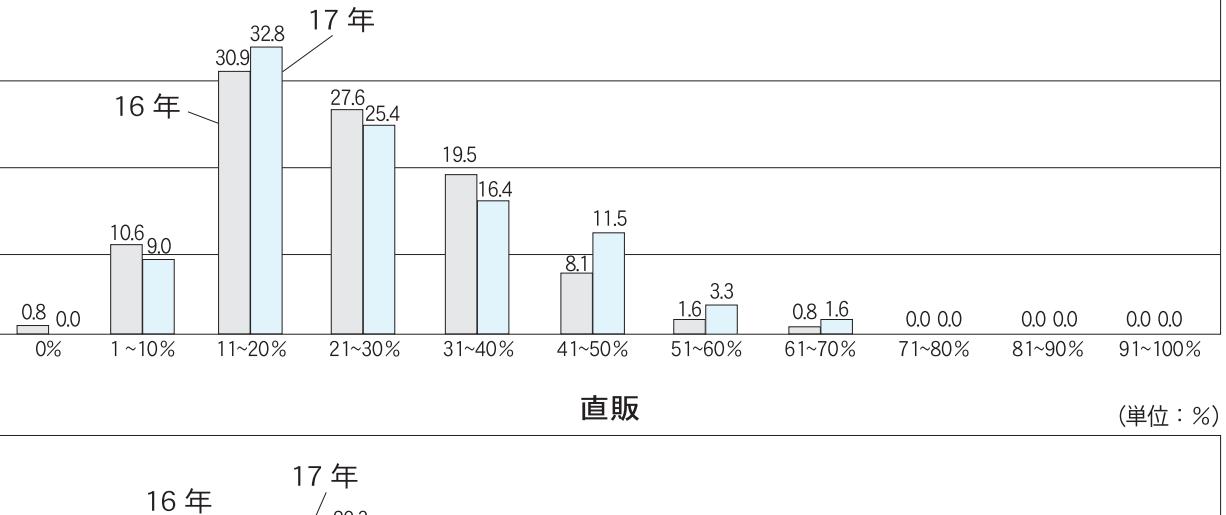
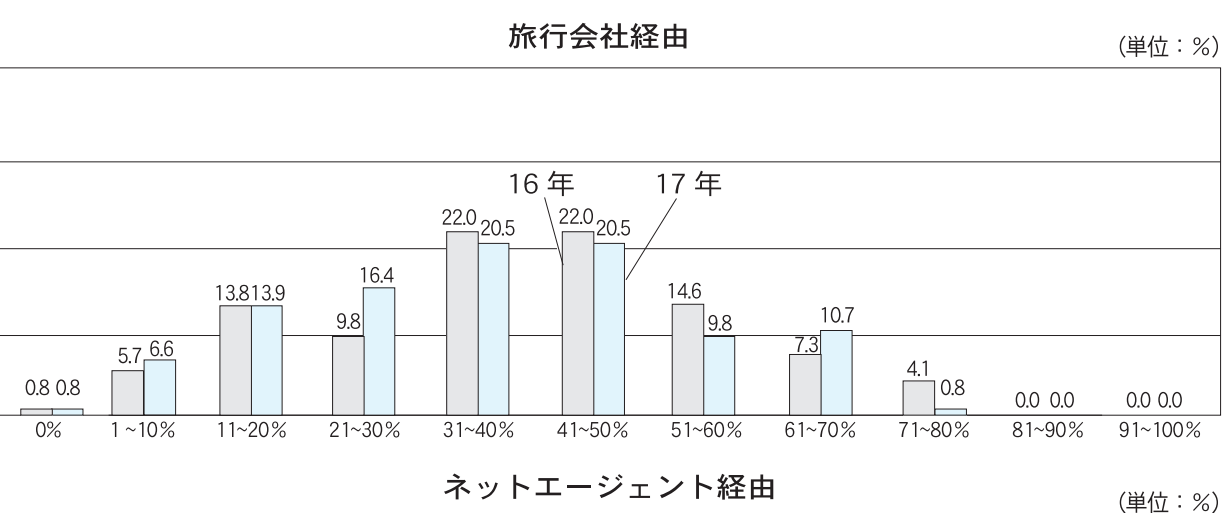
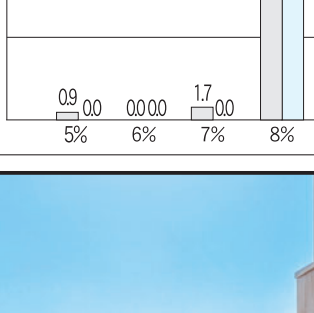
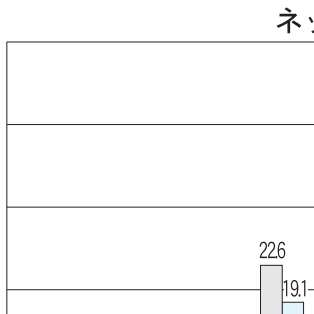
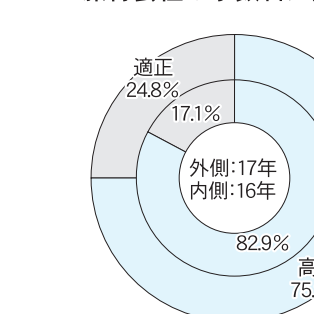
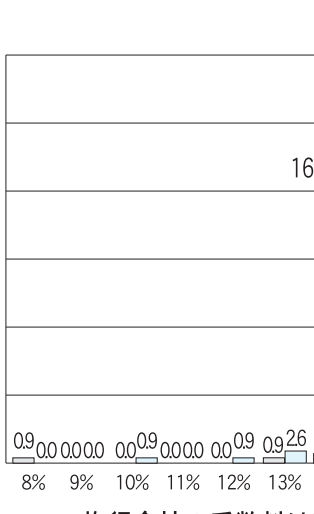
外国人の採用「している」は54%



外国人を社員、パート、アルバイトとして採用しているか。採用しているのは54%。採用していないのは13.3%。今後検討する32.7%。

「高い」が大多数

エージェントの手数料率の「高い」が47.2%と最も多かった。旅行会社の手数料率は「0%」が20.0%と最も多かった。その手数料率は「高い」が69.3%と最も多かった。



この調査は、復讐アンケートはがきを7月1日に郵送し、日本旅館協会の会員に、日本旅館協会に加盟している旅館・ホテルに2017年の業績(見込み)と2018年の業績(見込み)を調査し、経営上の課題を調査した。調査は、復讐アンケートはがきを7月1日に郵送し、日本旅館協会の会員に、日本旅館協会に加盟している旅館・ホテルに2017年の業績(見込み)と2018年の業績(見込み)を調査し、経営上の課題を調査した。

調査の概要

この調査は、復讐アンケートはがきを7月1日に郵送し、日本旅館協会の会員に、日本旅館協会に加盟している旅館・ホテルに2017年の業績(見込み)と2018年の業績(見込み)を調査し、経営上の課題を調査した。

多彩な温泉、旬彩の美食、日本の宿のおもてなし

若草の宿丸栄へ

日本一の富士山のふもと、四季折々の風情を映す河口湖のほとり、世界遺産の大自然を舞台に、「若草の宿丸栄」の物語がはじまります。

丸栄 0555-72-1371